

三重高演劇部入部希望者の心得

三重高演劇部の目標2020

「観客に感動を与える劇を作る」

本校演劇部が求める人○・求めない人×

- ・ 「普通」のクラブ活動ができる○
活動日は休まない、遅刻しない、やむを得ず休む時は実際に行く人に直接顔を見て、理由を含めて連絡することができる○、勝手に携帯を使う×
- ・ 主体性を持って取り組む、「能力」「時間」「性格」において向上心がある○
良い結果はみんなの力、悪い結果は自分の力不足と考えることができる○
自分の問題をクラブのせいにする、失敗してもへらへらして意識が低い、兼部や補習・勉強を言い訳にする×
- ・ 礼儀正しい人、部活ができることに感謝の気持ちを持つ○
礼儀知らず、ありがとう・ごめんなさいが出てこない、やらされてる意識・態度×
- ・ 自分の都合より、仲間＝上演に向かって行動している人 の都合や気持ちを考えて行動できる○、大会や発表に向かっていのに、部長に黙って「自分の予定」を入れる、気の合う人だけで固まる、派閥を作る×
- ・ 自分にやる気が起きないとき、自分や他人に問題が起こったとき早く言う○
- ・ 辞めると決まっても一つの大会や発表が終わるまでは楽しんで仕事する○
大会や発表がせまってからやめる、自分は誰かを支えないままやめる×
- ・ 部活ですぐ体操服に着替える、身体を動かすことを嫌がらない○
練習がある日にジャージを(わざと)忘れる、先輩や仲間が片付け・掃除・力仕事をやっても無視する、近寄って来ない×
- ・ 創作物・他者の作品・お客さんに対してリスペクト(敬意)を持つ○
他校の演劇を見ない×、脚本を書いた人・音楽を作った人・裏方の人に感謝しない×

8つのルール

- (1) 練習が終わったあとは必ず掃除し、練習場所の床には何も置かないようにする。
貴重品・借り物については施錠した空間に保管。部関係の現金は顧問に届ける。
- (2) 部に関するお金を生徒が持たない。
- (3) 放課後はだらしなくせず、速やかに部活を開始する。終了は18時までとする。特別な事情で活動を延長する場合や、休日に活動する場合は顧問に届ける。
- (4) 無断欠席禁止。止むを得ず部活を休んだり、遅れたりするときは、顧問か部活へ行く人に、口頭で理由を含めて伝言を頼む事。LINE のみの連絡は禁止。部員同士の約束は誠意を持って守る。一部の部員・顧問を除いたLINE グループを作るのは禁止。トラブル防止のため重要なことをLINE でべらべらしゃべらない。
- (5) 礼儀正しくある事。自校他校の顧問はもちろん、大会や発表会で他の学校の顧問、オペレーター、会館の職員、部員の保護者、お世話になっているOBやOGの人々に、心から「おはようございます」「こんにちは」「よろしくお願いします」「あ

りがとうございました」などのあいさつを、アイコンタクトしてする。集合の時はすぐにコンパクトに集まって、よそ事せず、マスクを取り、まっすぐ頭を向け話を聞くこと。

- (6) 公演後の掃除と反省会は必ず出席する。反省会で次の劇への参加を表明し、「参加」を表明した生徒は、必ず参加すること。脚本・キャスト・スタッフの決定や変更などが絡む「重要ミーティング」には必ず参加する。顧問不在の重要ミーティングは禁止する。
- (7) 生徒指導上の問題を起こさない。部活動中の無許可でのスマホの使用は禁止する。
- (8) 部活と学業の両道一体が基本。部室でだらだら過ごしたりせず、速やかに帰り、成績不振にならないよう留意する。部内の男女交際は禁止。役者の兼部については主要部員・顧問参加ミーティングによる総意で認められた者とする。
※ 以上の8項目を守れない場合は、決定していた役割をはずされたり、場合によっては退部も含めた処置を取るものとする。

部活運営上の注意

- (1) キャストとスタッフの希望はかなうように努力するが、どちらかが足りないときは回ってもらう。熱心に仕事のできた人を優先に次の劇で希望をかなえていく。キャスト・スタッフは部活に「うちこめる」人が条件。欠席・遅刻・別の用事を部長に無断で入れるなどでキャストや演出を交代させることがある。
- (2) 大会は長期休みの期間中に行われる。2週間前からは土日も部活がある。
- (3) 大会は実行委員会方式で運営されており、土曜日に会合がある。引き受けた以上は何があろうと責任を持って参加する。
- (4) 大会では他校の劇を必ず見て、感想ボードに感想を書くなど、積極的に参加する。また積極的に他校の友人を作る。本物の劇、映画などを積極的に見て、話しあったり、記録する。(高校演劇は他校を見るから、自校を見てくれます)
- (5) 部活に関して渡される書類、脚本、大会プログラムなどは必ずファイルし、活動に活かすこと。
- (6) 部活に関する本やビデオ・DVDを借りる場合にはノートに名前を記帳して、部長か副部長に声をかけてから借り、見終わったらすぐに必ず返却すること。
- (7) 部活動は先輩が後輩に教えるから成り立つ。後輩に自分の経験を伝え、働く自分の後姿を見せられるまで部活を続けるよう努力する。「ちょっと役者」「出たり入ったり」は迷惑である。 ↓下の線で切り取って提出すること。

以上を確認したうえで、演劇部へ入部します。

令和2年 月 日

生徒名 _____

※ 保護者には必ず自分から入部について話をしておくこと。